



# 建設機械の高度化による省CO2効果実証事業（国土交通省連携事業）

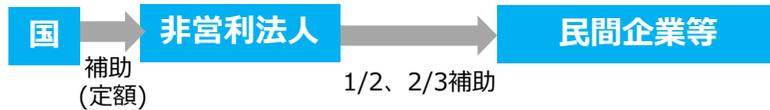
2019年度要求額  
800百万円（新規）

## 背景・目的

- 建設機械の分野においては、ICT/IoT/AIを活用し、より効率的な施工を行うための取組についての検討が進められている。
- 本事業では、建設機械メーカー、施工事業者等が連携し、既に市場で実用化されているICT/IoT/AIを活用した建設機械の導入又は必要に応じた改修を行うとともに、モデル的に施工現場での実証を行うことにより、従来の施工に比べて、どの程度の省CO2効果があるかについての定量評価を行うこととする。

## 事業スキーム

事業期間：平成31年度（2019年度）～平成33年度（2021年度）  
 補助対象：建設機械メーカー、施工事業者  
 建機リース・レンタル事業者 等



## 事業概要

○既存のICT/IoT/AIを活用した建設機械の導入又は必要に応じた改修とCO2削減効果の評価

- ・ 既存のICT/IoT/AIを活用した建設機械（バックホウ、ブルドーザー）の導入又は必要に応じた改修費用と、施工現場でのモデル的な実証やCO2削減効果の評価に要する費用を補助する。

【補助率：本体価格の1/2（改修の場合は、改修費の1/2）、  
 ただし、低炭素型建設機械認定制度又は燃費基準達成建設機械認定制度に基づく認定を受けた建設機械については、同2/3（改修の場合は、改修費の2/3）】

## 期待される効果

- 建設分野における低炭素化を図ることが可能となる。

## イメージ

### 従来



設計図に合わせ 丁張り設置      丁張りに合わせて施工      検測と施工を繰返して整形



### ICT等対応建機導入後

